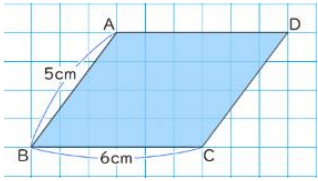
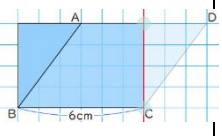
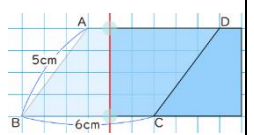
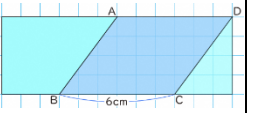


- (1) ねらい 平行四辺形の面積は、長方形や正方形に等積変形して、既習の求積公式を用いれば求められることを説明することができる。
- (2) 評価規準 既習の長方形や正方形の面積の求め方を基にして、平行四辺形の面積を考え、説明している。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (1/12)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1 問題を提示し、課題解決の見通しを立てる。 ・ 次の平行四辺形の面積を求めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>長方形や正方形の面積の求め方を復習し、平行四辺形の求め方の見通しをもてるようにする。</li> <li>斜めの部分があるため1cm<sup>2</sup>のマスを数えても、平行四辺形のままで面積が求められないことを確認する。</li> </ul>
展開	2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">平行四辺形の面積の求め方を考えよう。</div> 3 個人で追究する。 ・ 学習者用デジタル教科書 P. 203 <input type="checkbox"/> 4 全体で追究し、課題を解決する。 C1 「平行四辺形をこのように長方形に変えて面積を求めました。 4×6=24 答えは24cm <sup>2</sup> です。」  C2 「平行四辺形をこのように長方形に変えて面積を求めました。 4×6=24 答えは24cm <sup>2</sup> です。」  C3 「同じ平行四辺形を2つ用意して、片方の平行四辺形を切って組み合わせて大きい長方形をつくります。 長方形の面積は4×12=48です。 48cm <sup>2</sup> は平行四辺形2つ分の面積だから2で割って48÷2=24 答え24cm <sup>2</sup> です。」  T 「3人の考えで似ているところはどこですか。」 C4 「長方形に形を変えています。」 T 「どうして長方形に形を変えるのですか。」 C5 「長方形は面積の求め方が分かるからです。」	<p><b>【ICT 活用の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用デジタル教科書で図を拡大すると、余分な情報を排除でき、注目すべき対象に注意を向けやすくなる。</li> <li>学習者用デジタル教科書にあるシミュレーション機能や書き込み機能を用いて、個人追究を行う。学習者用デジタル教科書のシミュレーション機能は、切断・コピー・移動などができ、児童の発想に沿って直感的に操作することができる。また、何度でもやり直しができるため、試行錯誤がしやすい。</li> <li>児童の進度を把握したり、仲間との追究で活用したりできるように、画面をスクリーンショットし協働学習支援ツールで共有する。</li> </ul> <p><b>【ICT 活用の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用デジタル教科書を用いて表現した考えを仲間と共有し、説明したり、考えの共通点を見つけたりする。共有機能を用いて全体追究を行うことで、他の児童の画面を自分の手元で見ることができるようになる。</li> </ul>
終末	5 学習をまとめる ・ 平行四辺形の面積は、長方形や正方形などの面積の求め方が分かる形に変えて求める。 6 本時の学習を振り返る。 ・ 学習者用デジタル教科書 p. 204 鉛筆1 ・ 本時の学習を振り返りシートに記入する。	<p><b>【ICT 活用の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用デジタル教科書でシミュレーション機能や書き込み機能を用いて鉛筆問題に取り組む。</li> <li>画面一覧機能を活用して、児童の進度を把握し、支援が必要な児童には個別指導を行う。</li> </ul>